



労働者側不参加

給與 遂に政府側と意見対立

給與審議會第一回、第二回案を強硬主張したが和田長...

水谷商相視察報告

炭礦國管を決意す

高萩炭田に大名旅行を終り、三時間も熱気に...

石炭増産と

その必須条件

先頃常磐炭田視察に水谷商相が来県し「私が社会党の...

毎週日曜発行 定価一冊三十四圓...

支局 石城郡四倉町 石城郡田代町...

坪、六萬トンを炭出し石...

久雄、久保木安雄、蓬田...

中里主任に導引が得るならば...

中里主任は如何にも楽し...

市當局並に市の有志の御一...

料飲業者轉業?

業者はあぶく銭で半年は...

隣保館見學記

六月二十二日は端午の節句...

一被列車時間表は六月變更...

更變表時間車列 中賣發社本

改組に成功した

社会黨常務支部の改組は去...

加算願ひます 平市大町八番地

社員募集 運轉手 二名

神谷工業原料株式

具房文ト品用務事 元買發簿帳印助福

目丁五市平 店商屋釜

躍進する植田町と 明朗なる前途

植田町は多年に亘つて政民に至つた、即ち多年文化教育の泥試會に嗣され其青年指導に専らした植田町が、終戦と共に民主的に目下清氏衛生思想演説を唱へ長...

重要化する 浪江地方の鑛區

從來常磐炭田と云へば一般に川尻から富岡に至る間を指すに非ざるが、相馬地方の浪江地方の鑛區は...

大越所長陣頭指 張切る警炭

常磐炭鑛はさきに水谷商相の視察を受け商相をしてすつかり感激せしめたが同鑛は毎度出超の成績をあげ...

野馬追行事

七月十一、十二、十三日の相馬名物野馬追祭りが舉行され、馬が今年珍らしく女騎...

不正事件問題化

双葉郡末續驛は六月開通して側面より町政の援護をたが、同驛は請負師古川某...

監視しよう

平市警視にまつた監視哨が何つものまじり、やがて平市會議長金古ウツ...

公選哲學

七、學 吉田庄太郎 「學の字は一刻争ふ一字なり勉め強むる時間闘行」...

常磐炭鑛チーム

全國大會へ出場 九日迄に湯本を出發し東京し戸塚球場で十一、十二、十三日の大會に出場すること...

勤勞詩歌欄

蜂はさす蜂は吸ふなり蜂教 勤勞は和して同せず勤勞は同じで和せず共に生くなり...

山光堂商店 佛具品 常磐級平市本町四丁目 電話五五〇番

平凡 純喫茶 平市驛前

いづみや 電話三四八番

敷島 敷島 電話一〇七番

東海炭鑛業所 本社 長所 保母 保田 保村 保野 保上 保郡 保石 保島 保瀧

博盛堂 式一花造 具祭葬佛神